

# 会 議 録

## (1)会議概要

会 議 名	令和7年度 第12回泉大津市参画と協働のまちづくり推進会議		
開催日時	令和8年2月10日（火）19時00分～20時30分		
開催方法	泉大津市役所401会議室にて対面での開催		
出席者	委 員	久委員長、河合副委員長、大久保委員、河野委員、金原委員、 中井委員、南委員、川上委員、岡崎委員、小椋委員	
	事務局	政狩市民生活部長、森田市民協働推進課長、久保市民協働推進課総括主査、原田市民協働推進課係員、寺田おづぶらざセンター長	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0 人
会議次第	1 開会 2 令和7年度事業報告及び今後の取り組みについて 3 閉会		

(2)議事内容

○以下、事務局による進行

1. 開会

- 政狩市民生活部長挨拶
- 委員紹介、事務局紹介
- 資料確認
- 会長挨拶

○以下、会長による進行

2. 案件

事務局より「令和7年度事業報告及び令和8年度の主な取り組みについて」を説明  
(記録省略)

その後、委員による質疑応答

委員からの主な意見・指摘事項等	
<b>■ 地域活動の場について</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・シーパースパークやもんとパーク等、新たな市民活動の場が定着してきているだけでなく、穴師小学校区まちづくり協議会設立の機運が高まる中で、改めて穴師神社や穴師小学校等が活動の場としての役割を果たすことが期待される。また、市民活動支援センター「おづぷらざ」の登録者が増加し、市民活動に取り組む人や取り組みたい人の活動拠点として浸透してきていることが実感できる。</li><li>・なぎさ公園や再整備中の戎町公園が新たな市民活動の場となることを期待する。</li></ul>
<b>■ 市からの情報発信について</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民インフルエンサー登録制度について、いいね数の集計をすることで、より多くのファンを巻き込み、登録者のモチベーション向上につながるのではないかと。また、閲覧者の反応を分析することで、より効果的な広報活動を実現することを期待する。</li><li>・市のLINE公式アカウントについて、利用者アンケートの収集を強化し、登録者数とは別に、利用実態の分析を進めることで、広報力の向上と緊急時における情報伝達手段としての役割をより正確なものにしていただきたい。行政の特徴として、発信することが目的になってしまいがちなので、「伝える」ことを意識して取り組んでほしい。</li></ul>

#### ■ 次世代の人材育成について

- ・自治会のような従来の地域活動主体では、次世代人材の確保が課題となってきたが、学生の部活動などに活動の場を提供するなどして、地域活動に触れる入り口を用意することが大切であると考えられる。特に、科学部等の文科系の部活動は自分達の成果をアウトプットする機会が比較的に少ないため、ぜひ活動の場を提供してあげてほしい。
- ・都市公園などでは、未成年による騒音被害等が見受けられる。幼少期から彼らと地域とで顔の見える関係を築くことは、未成年の非行防止にも一定の効果を発揮すると思われる。

#### ■ 市民活動における資金調達について

- ・現在、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングのプロジェクトが進行中とのことだが、活動内容や想いを発信するだけでは限界がある。制度上、寄付者にとってメリットとなる税控除などを強調して伝え、共感を生む場として対面での募金活動を行うなど、多数の手法を複合的に実践することで資金調達を加速させられるのではないか。
- ・クラウドファンディングにおいては、挑戦する主体だけが PR するのではなく、周囲の主体と協力して盛り上げることがより大きな魅力を生み出す。市やおづぷらざの発信力を利用し、市内の市民活動団体を巻き込むことで、相乗効果が望める。また、クラウドファンディングに限らず、市の制度に認められているということは、企業等の組織からも信用される材料になり得るので積極的にPRして行ってほしい。

○以下、事務局による進行

### 3. 閉会（記録省略）